

放課後等デイサービス自己評価表(ガイドライン・事業者)
みたけ学園児童デイサービスセンターとれいん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練質スペースとの関係で適切であるか	○			基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者1名 児童指導員、保育士2人以上配置のところ現時点、児童指導員2人、保育士2人、指導員1名である。
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	室内も室外も段差があり、バリアフリー化されておらず、今後検討課題である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			改善内容について、課題について選定し取り組んでいる。また、会議や日々の引継ぎ等でも確認している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか。	○			昨年度より、ガイドラインに沿った自己評価の内容とし、保護者を対象として年2回調査を実施している。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の開放やホームページ等に公開しているか	○			結果について、昨年度から、公表することとしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価はうけていない。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の他、事業所見学、本体施設が開催する職場研修に出席、研鑽の機会としている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年1回はアセスメントを行い、サービス計画作成にあたっては、子どもや保護者からニーズを確認しながら作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現在使用しているものが、十分とはいえないことから、他事業所のものを参考としたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月の事業所会議にて、翌月の月案の素案を提示、検討している。
	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			創作的活動、音楽活動、健康的活動、調理、買物などの実施、季節行事を取り入れるなど工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇や休業でしかできない買物体験や記念館等の見学などを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて、個別的な活動、集団的活動の内容の計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、送迎や活動等の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			送迎終了後、送迎での家族からの話や支援の振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々、個別の支援記録に記載している。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定められた期間でモニタリングを実施し、達成度等に応じて、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			創作的活動、音楽活動、健康的活動、調理、買物などの実施、季節行事を取り入れるなど行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議 その子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか		○	サービス担当者会議の開催はないが、児童発達支援責任者が出席することになっている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校事項の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		年度はじめは、近隣支援学校との情報交換会があり、年間計画はいただいている。 また、必要に応じて、日常の中で、学校迎え時など確認している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要な子どもは利用していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	情報が不十分の時は、家族や保育所等に確認を行いながら、進めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	個人情報の取り扱いについて、保護者から了承を得ており、要請があれば、提供できるようにしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		適宜助言をうけられる体制はある。また、専門機関主催の研修等にも参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	放課後児童クラブや児童館等との交流は未実施であり、今後の課題である。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		本体施設グループ内で複数の放課後デイサービスがあるが、1事業所が代表して今年度から参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートの利用や、日々の送迎時に行っている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	職員がペアレント・トレーニング等の研修に参加し、技能習得に努めている。
	㊀	運営規定・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約の際、重要事項説明書にそって説明を行い、随時サービス内容については、説明を行っている。
	㊁	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		サロン事業や普段の送迎時等、今後も相談をうける力を身に付ける
	㊂	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会は組織化されていない。 保護者交流会(サロン事業)を実施し、連携を図っている。
	㊃	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情解決マニュアルに従い対応している。
	㊄	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の事業所便りや行事予定を配布し情報発信している。
	㊅	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護マニュアルに従い対応している。
	㊆	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		発達障がいの方等に視覚的な情報伝達を行っている。 文書へはルビをふるなど行っている。
	㊇	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか		○	近隣の高齢者デイサービスの利用者が活動と一緒に参加したり、当事業所の利用者も高齢者デイサービスに訪問している。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは策定しているが、防犯マニュアルは本体施設グループのマニュアルはあるが、事業所としてのマニュアルはなく、整備を図っていく。保護者等への周知については、事業所だより等を通じて発信できるようにしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○			月1回の避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内のグループ内の研修に参加しているほか、外部研修を受講している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			本体施設のガイドラインを作成、組織的に決定し、説明書が必要な利用者に了解等をとっている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの情報聴取に基づき、対応を行っている。医師の指示書はない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所会議において、リスクマネジメント(アクシデント)を分析、その都度共有を図っている。